



2026年1月13日

各 位

会社名 日本ライフライン株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 鈴木啓介
(コード番号:7575 東証プライム市場)
問合せ先 取締役常務執行役員 CFO 江川毅芳
(TEL. 03-6711-5200)

心房中隔穿刺用高周波ワイヤ「XEROstar」の薬事承認取得に関するお知らせ

当社は、自社開発製品である心房中隔穿刺用高周波ワイヤ「XEROstar（ゼロスター）」について、薬事承認を取得しましたのでお知らせします。本製品は、2026年3月以降のフルリリースを予定しております。

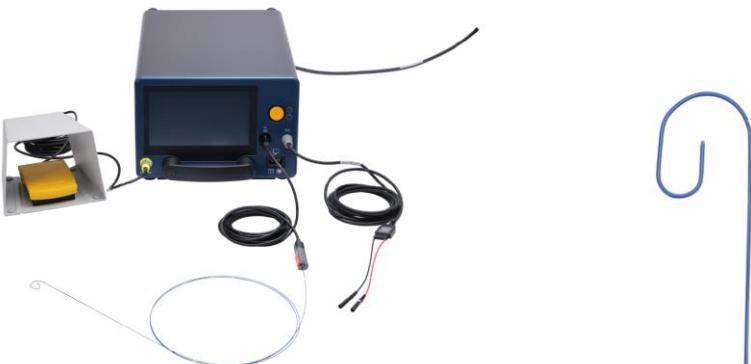
当社の得意領域である不整脈領域においては、心臓疾患の一種である「心房細動」の治療法として、カテーテルで患部を焼灼するアブレーション治療が普及しています。この治療では、治療用カテーテルを右心房から左心房へ通すために、心臓の中隔（部屋を隔てる壁）に小さな穴を開ける手技（心房中隔穿刺）が必要不可欠です。この手技は治療全体の第一歩となる重要なステップであり、高い安全性と確実性が求められています。

「XEROstar」は、心房中隔穿刺の手技の効率化と安全性を両立させるために設計された自社独自の製品です。製品名の「XEROstar」は、「ゼロ・エクスチェンジ・ワークフロー（交換なしの手順）」を可能にすることに由来しています。従来の針型デバイスとは異なり、柔軟な「ワイヤ形状」を採用しており、穿刺から治療用カテーテルの通り道（シース）を設定する手技を1本のワイヤで完結させることができます。これにより、従来のデバイスの交換の手間を省き、手技の効率化と手術時間の短縮に寄与します。また、ワイヤの先端部は「ハーフ・ピッギテール」の形となっているため、ターゲットである左心房に到達した後の血管壁への不意な損傷リスクを低減します。

本件について、当社の代表取締役社長CEOである鈴木啓介は次のようにコメントしています。「当社は、2013年より心房中隔穿刺において海外メーカーの製品を国内で独占販売し、国内の心房細動症例の90%以上をカバーするなど、市場における普及に貢献してまいりました。その後、供給元のM&Aに伴い取扱い終了を余儀なくされましたが、長年蓄積してきた知見と、当社のカテーテル技術を融合させ、市場に再参入を果たすべく自社開発を進めてきました。この度、その成果である『XEROstar』を上市する目途が立ったことを嬉しく思います。本製品は心房細動のカテーテルアブレーションのみならず、戦略的な成長分野と位置付ける構造的心疾患領域においても使用されるため、将来のシナジーも期待できるものです。『XEROstar』が医療現場における新たな選択肢として広く受け入れられ、手技の効率化に貢献していくことを大いに期待しています。」

なお、本件が2026年3月期の当社の連結業績に与える影響は軽微であると見込んでいます。

以 上



心房中隔穿刺用高周波ワイヤ
「XEROstar」

販売名	JLL 高周波中核穿刺ワイヤ
一般的の名称	経中隔用能動型穿刺器具
医療機器承認番号	30700BZX00347000

販売名	JLL 高周波中隔穿刺専用ジェネレータ
一般的の名称	非目視下非鏡視下処置用電気手術器
医療機器承認番号	30700BZX00348000

■ 日本ライフラインについて

日本ライフライン（東証プライム：7575）は、心臓・循環器領域および心臓血管領域を得意とする医療機器企業です。電気生理カテーテルや人工血管などを主に取扱い、海外の優れた医療機器を日本に導入する商社機能と、自社製品を開発・製造するメーカー機能の両方を駆使してプロダクト・ポートフォリオを構築しています。国内48か所の営業拠点と自社製品の海外展開を通じて、医療現場と患者さまに最新最適な医療機器をグローバルに提供することを使命としています。より詳細な情報はウェブサイトをご覧ください。<https://www.jll.co.jp/>

【本資料に関するご注意】 本プレスリリースは、報道関係者や株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様に当社の経営情報の開示を目的としており、医療機器の販売促進や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。